

の指頭を前方にさし掌を左側にした右手をま
っすぐに前方へ突き進ませて行く。

前進 (イ) 五指の指頭を上をさし掌を前向
けた両手を左右に並らべて一列横隊の形をつ
くり、そのまま前へ押し出す。(ロ) 五指の指
頭を上をさし掌を左側にした右手、五指の指
頭を上をさし掌を右側にした左手。この両手
を前後に並らべて一列縦隊の形をつくり、前
へ進ませて行く。

潜水艦 掌を上向け五指の指頭を右にさし
た右手を水面として、その手前内側に指頭を
上にさした右手の人差指を下からのぞかし
(潜望鏡) 右へ移動させる。

戦争 (イ) 「争う」の(イ)と同じ手まね。

(ロ) 「争う」の手まねでは、左右の人差指の
二指だけを打ち合わせるがこれを左右両手の
五指で同じ要領で打ち合わせる。(イ)を複数的
に表わしたもの。

全体 「凡て」と同じ手まね。

宣伝 「広告」と同じ。

センター 統べる一処。

船頭 両手で艦を漕ぐ身振り一男性

専門 (イ) 医学専門に勉強する。医学一だ
け(唯一つ)一勉強。(ロ) 耳鼻専門科。耳一
鼻一医者。(イ) 時計専門店。時計一だけ一
店。一全滅 死ぬ一死ぬ一凡て一なくなる(ロ)

ソ

象 掌を前向けて拳にした右手を手首廻り
のところを鼻頭につけ、上下にぶらぶらさせ
る。象の鼻の模写。

相違 掌を下に向けて、指頭を前方にさし
た人差指と親指の両手を間隔を置いて平行に
左右に並らべると同時に掌をくるりと上向け
に反転させる。「同じ」の手まねの場合人差

指と親指の指頭を合わせるのに対して両指の指頭が合わず「食い違ふ」意味を表わす。

相応 「叶う」「適する」と同じ手まね。

造花 紙造る—爐—花。

壮健 「健康」と同じ手まね。

相互 「互いに」と同じ手まね。

葬式 死—拜む—式。

想像 「思い出」と同じ要領で表わす。

相談 「打ち合わせる」と同じ手まね。

そうである(と云うことである) 五指の

指頭を集め合わせた右手を右耳に向ってぱつと五指を開く。話とか噂が耳に入ってきて来ると云うこと。

相当 「適當」と同じ手まね。

聰明 「賢い」と同じ。

僧侶 左手で拜む真似をして、右手人差指で木魚或は鉦を叩く身振りをして—男性。

草履 五指の指頭を前方にさし掌を上に向

けた左手の上に五指の指頭を前方にさし掌を下に向けた右手をびったりと重ね合わせて、僅かに叩たく。左手掌を草履として、右手掌を足裏として、僅かに叩たき合うのは歩行の時の足と草履の状態を表わしたもの。

即位 五指の指頭を右にさし、掌を上向けた左手(位)の上に、男性を表わした右手を下から載せる。

賊 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手で眼の上(額)を被おい、五指の指頭を右にさし掌を内側にした左手で眼の下(鼻の上)を被うい、覆面を表わす。

そして 「在る」の手まねのように、五指の指頭を上(さし)掌を前向けた右手を前方右斜めにさし出し僅かに前後に動かす。

祖先 先ず、父母を表わした右手をその位置にとどめ、その上に左手で男女を同時(親指と小指)に表わしたのを、その手首を左右